

# 水と緑豊かな活力ある

# まちを目指して

建設中の役場新庁舎



明和町長  
齋藤 憲

新年明けましておめでとうございます。

皆様がたにおかれましてはご家族おそろいで、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申しあげます。また、常日ごろより町政各般にわたりましては、温かいご理解とご支援を賜り、衷心より厚くお礼申しあげます。

さて、国の内外に目を向けますと、北朝鮮による核開発疑惑や拉致問題、イラク戦争後の自衛隊による復興支援の問題。そして国内でも台風による豪雨災害や大規模な被害をもたらした新潟中越地震等、国民の安全・保障に対する問題がクローズアップされた年でありました。また、それと同時に憲法に対する護憲、改憲の議論、地方財政の三位一体改革、行政改革に伴う郵政民営化の問題、改正自治法による地域自治区の創設、「官から民へ」「国から地方へ」といった構造改革と地方分権の進捗

など国・地方の変革に加え、円高や原油高が懸念される中の不確かな景気状況により、産業構造や社会経済も含めて大きな変革期を迎えており、住民の価値観の多様化と相まって、地域社会や住民生活に大きな変化をもたらした年でもございました。

特に国と地方の税財源を見直す三位一体改革では、町としても今まで以上に徹底したコスト管理と行政改革に伴う「小さな自治づくり」の必要性を改めて考えさせられた年でもございました。

このような厳しい状況の中ではございますが、本町は幸いにも町議会をはじめ、町民の皆様のご支援、ご協力によりまして、健全財政を堅持しながら、200人規模町民の皆様に参加していただいている明和町懸案事項検討委員会の実施、昨年から引き続き施行している情報化施策等推進事業、新しいわ創造プラン策定事業、環境IS

〇関係事業、そして少子高齢化に伴う保健福祉施策や教育関連事業等従来からのソフト事業をはじめ「子どもたちを地元食材で育てる特区」の認定、住民参加型ミニ公募債「めいわ愛町債」の発行など先進的な事業についても取り組むことができました。また、主要事業である役場庁舎建設事業や公共下水道事業などハード事業も併せて実施し、次代に向けての基盤づくりを着実に推し進めることができました。

新たに迎えた平成17年は、第5次総合計画の幕開けの年として、メインテーマである「水と緑豊かな活力ある明和町」を目指して、なお一層皆様の創意と英知を結集し全力を傾注してまいりたいと考えております。そのためには、公共下水道事業をはじめとして、農業集落排水事業の推進、昭和橋の架け替えおよび関連の国道122号線渋滞緩和のバイパス建設事業の早期実現など、残された重点課題に積極的に取り組んでまいり所存でございます。また、行政の拠点にふさわしい役場新庁舎の完成と同時に、今まで以上にぎめ細やかな行政サービスの向上に努めていきたいと考えております。

どうぞ今後とも相変わらぬご支援、ご厚情をお願い申し上げますとともに、皆様がたのご健康とご繁栄を心からご祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。